

ケミカルジェネティクス： 生命科学と創薬研究の交差点

主催：徳島大学研究支援・産官学連携センター／共催：先端酵素学研究所 セミナー委員会

ケミカルジェネティクスの研究は、生命科学と創薬の分野において急速に進展している革新的なアプローチです。今回は、理化学研究所の吉田稔先生をお迎えし、ケミカルプローブを活用した遺伝子機能の解析や、細胞レベルでの遺伝子発現調節とその応用についてお話いただきます。

ケミカルジェネティクスの手法は、従来の遺伝学の「突然変異」や「遺伝子ノックアウト」の代わりに特異的な化合物を使って、微生物や動物の遺伝子と機能の関係を解明し、生命の基本原理の理解に貢献しています。この度の講演では、がんや遺伝病の理解と新たな治療法の開発など、応用の幅広さにも触れていただきます。



講師：吉田 稔 先生

国立研究開発法人理化学研究所 理事
東京大学 特別教授

講師プロフィール

吉田稔先生は、理化学研究所ケミカルゲノミクス研究グループのグループディレクターとして、長年にわたりエピジェネティクスや創薬の分野で革新的な研究を続けてこられました。先生の研究は、低分子化合物を用いて遺伝子の機能を解析するケミカルジェネティクスの手法を駆使し、真核生物における普遍的な遺伝子発現調節機構を複数発見し、そのメカニズムの解明を通じて創薬に貢献した点で高く評価されています。

令和7年 1月17日(金)

15時～17時

会場：藤井節郎記念ホール

徳島市蔵本町3丁目18-15

● 申込方法 *申込締切1/14

以下のURL又は右のQRコードよりお申込みください。



<https://forms.office.com/r/z8tBsAFggV>

プログラム

15:00 開会挨拶

福井 清

徳島大学 副学長／元先端酵素学研究所 教授

15:05 ご講演

吉田 稔 先生

「ケミカルジェネティクス：
生命科学と創薬研究の交差点」

16:35 質疑応答

16:55 閉会挨拶

木下 健 先生

東京大学 名誉教授／元長崎総合科学大学 学長

司会：加藤研一

徳島大学研究支援・産官学連携センター 客員教授
信州大学学術研究・産学官連携推進機構 教授

● お問合せ先

徳島大学 研究支援・産官学連携センター
TEL：088-656-7592（内線：82-4951）
Email：rac-info@tokushima-u.ac.jp

こんな方におすすめ

- ・ 生命科学やバイオテクノロジー分野の研究者・学生
- ・ 発酵・醸造・抗生物質など微生物の利活用に興味のある方
- ・ 創薬研究の新しい展開に関心がある方

会場案内

